

2018浦和民商青旗開き・新年会開催

浦和民商ニュース

1月28日（日）午前11時30分より市民会館うらわ705・706号室にて、浦和民商青旗開きが開催されました。今年は夜ではなく会員さんの要望で昼時間に設定しました。55名の参加でした。今回の進行役は、南区斎藤照子さん・緑区寺尾栄子さんに務めていただきました。

最初に荒川副会長が、今全国で行なわれている改憲反対3000万人署名のことに触れ春の運動中に大きな成果を収めましようとの開会宣言しました。香田会長は催者あいさつで、「組織拡大することが情勢を変える唯一の手段。生活は政治。中小業者の未来のために決起しよう！」と青旗開きの宣言をしました。

来賓の皆様からのご挨拶で、市長選挙に出馬されたさいたま地区労働組合議長前島英男様は、さいたま市政の住民本意でない政治のあり方を一緒に変えていきたいと思いますと訴え大きな拍手が。顧問の第一経理所長で税理士の長谷川元彦様は、消費税10%増税に触れ、インボイス方式導入が業者を廃業へ追い込む危険な制度であり学習と運動の大切さをお話されました。埼玉総合法律事務所弁護士の、伊須慎一郎様は平和の大切さ、殺し殺される戦争する国作りをしないために連帯を強め世論を変えていくことが大切と重ねてお話されました。日本共産党から鳥海市議会議員、守谷市議会議員、久保市議会議員、松村市議会議員が駆けつけてくださり、12月議会の報告と2月議会の取り組み、とりわけ風営法強化の問題、地方税の過激徴収の問題を報告して頂きました。

佐藤会計の乾杯後、前進座の村嶋真紀雄様より5月に国立劇場で行なわれる『人間万事金世中』（にんげんばんじかねのよのなか）の宣伝をして頂きました。

歓談後、婦人部の皆さんによるビンゴゲームの余興を行い皆様に楽しんでいただきました。

後半、4区支部の代表から春の運動の決意表明を行ないました。4区支部の皆さんからそれぞれ秋の運動で支部・班の取り組みと成果、春の運動への計画を発表して頂きました。

最後の締めは、木下副会長による春の行動提起①署名を会員比1人10筆の目標達成。②不退職の気持ちで支部目標をやり遂げ組織拡大達成を。③埼玉県商工団体連合会が主宰する全県拡大競争をがんばる。この3点を意思統一し全員でがんばろう三唱を行い、盛会のうちに終了しました。

開会するに当たりビンゴゲームなどたくさんの会員さんよりご寄付を頂きました。大変ありがとうございました。また関係各位の皆様より祝電・メッセージを頂き感謝申し上げます。

発行
浦和民主商工会
www.minsyoo.jp
さいたま市浦和区本太
5-38-3
Tel: 886-5200
FAX: 886-5454
メール: urawa@minsyo.jp



香田会長あいさつ



前島浦和地区労議長



婦人部のビンゴゲーム



秋の運動・表彰



最後はガンパロウ三唱!

さいたま市の母の願いを自治体へ さいたま母親大会が さいたま市と交渉

1月30日（火）午前10時より大宮区役所会議室で昨年行なわれたさいたま母親大会分散会で討議・採択事項をさいたま市と交渉をしました。参加は38名、市の職員22名で2時間の交渉しました。

浦和民商婦人部は、母親大会実行委員会加入しています。婦人部水本部長、寺尾副部長、田中洋子さん、事務局松本が参加しました。

要請は多岐に亘りました。保育園待機児童、岩槻区小学校の建設、35人学級、道徳教科書問題、障害児童問題、引きこもりの子を持つ親の会、平和についてなど。たくさんの事例を職員に切実な気持ちで話しましたが市側は、それは国の判断、予定は無いと冷たい回答も多くありました。浦和婦人部から、国保税の単位化について値上げ分は基金を取り崩し値上げを回避してほしいと要請し2月議会で討議しますと回答がありました。



埼婦協・署名行動と春のつどい



1月25日（木）午前10時から埼玉県商工団体連合会婦人部協議会（埼婦協）は、大宮西ロデッキにて全県民商婦人部が集合し『憲法9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名』活動を行ない37人が参加、浦和婦人部から8人が参加しました。短時間でしたが署名97筆集まりました。

午後から与野コミセンにて春のつどいを開催、54人が参加し昼食をとりながらアコーディオンを伴奏にみんなで歌い楽しみました。また複数の会員さんから戦争体験談をお聞きし、改めて戦争の悲惨さ、悲しみを実感しました。最後は全員で元気に民商音頭を踊りました。



会員さんにお知らせ

商工新聞の配達、雪のため1週間遅れました。配達の皆様・会員様にご迷惑をお掛けいたしますが、宜しくお願い致します。